

井戸端だより

第44号

発行日：2003.12.24

発行：くらしの学習会

もくじ

中国旅行記	1 p
建築当初に復元された『庚申庵』	4
庚申庵を訪ねて	5
重信浄化センター場内整備意見交換会に参加して	6
『重信川の自然をはぐむ会』活動報告	7
ホームヘルパー体験談	9
12月雑感	11
愛媛新聞掲載文(重信町・川内町議会)	12
雑感	13
大気中の二酸化窒素(NO ₂)の測定結果報告	15
こころを聴く 愛媛いのちの電話	17
愛媛新聞掲載文(人間の盾から見たイラク戦争)・おしらせ	19

10月例会～10月27日 林宅 久しぶりに出席した会員も加わり賑わった。

主に中国旅行や合併地区別懇談会の話。会員に男児が誕生したこと、

購読会員が1名増えたことなど嬉しいニュースがあった。

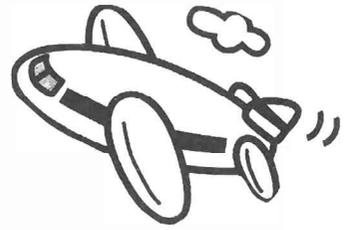
11月例会～12月1日 庚申庵見学

12月例会～12月15日 林宅 自慢料理の持寄りで忘年会。

今年はいラク攻撃で始まり、日本の自衛隊派遣が決まった一年だった。

混沌とした社会情勢の中、日本人として安心して暮らせる生活を取戻したい

中国旅行記



《はじめに》

9月22日午前8時、一行8人は松山空港を出発。関西空港経由し中国南方航空で中国へ向かった。目指すは中国東北部（旧満州）の吉林省通化市（人口約230万人）。関空から2時間半朝鮮半島を横切り、瀋陽空港に下り立った。更に4時間半。陽はとつぷりと暮れていた。

この旅は、9年前から重信町と通化市の子ども達の絵画交流をしている日中交流アカシアの会の念願の通化市訪問（教育局・小学校）であった。私は写真担当として訪問団の一員に加わり、熱烈歓迎の模様、生き生きした小学生の学習の光景、広大な景色や人々の生活ぶり、日中戦争の傷跡などカメラに約300枚を収めてきた。

《370km車窓から》

瀋陽から通化市まではマイクロバス。柳・ポプラ・アカシアの並木が続く片側2～3車線の広い道路沿いにはレンガ工場の列。やがて農村地帯に入ると収穫期を迎えた稲・とうもろこし畑が延々と広がっている。これらの作物づくりは全て手作業とのこと、気の遠くなるような話である。実際、釜を持った出稼ぎの農夫をあちこちで見かけた。この人達の年収は日本円で3万円程度という。目的地までの370kmの間トンネル（10数m）は1つ、大平原が続く。常緑樹の多い低い山、道の両側にはレンガ造りの長屋の集落が点在し、道と家との境に低い塀があり、鶏・やぎ・アヒルなど家畜を飼い、収穫したとうもろこしを屋根や塀や庭に干している光景は、自給自足をしていたかつての日本の田園風景を思い浮かべる。

スイカ、りんご、梨、柿、あんず、ぶどう、からしなどの露天の店、湖の傍ではそこで捕れた魚を売っており、あちこちに食堂らしきものがある。道路は生活の場、アヒルが歩き水溜りで水を飲み、山羊の集団が家路につき、人々が井戸端会議をする所。

瀋陽と通化市の間に3つばかり高層の集合住宅の立ち並ぶ大きな街があり、電飾が輝く商店は賑わい、人・車の往来も多い。広い道路には歩道も信号機もない。人・自転車・リヤカー・バイク（人・物を運ぶタクシーの役割をしている）・トラック（現場へ人も運ぶ）・乗用車、みな隙間を上手にすり抜けて縦横無尽に動いている。移動通信の鉄塔がそびえ立ち、携帯電話はかなり普及しているようだ。

通化市までの道は高速道路という舗装道路で行政区毎に料金を払う有料道

路。サービスエリアやパーキングエリアもない、従ってトイレはガソリンスタンド（国営で油城とかいてある高い建物で）で拝借。これが、日本のふるさと村などで観光用にみせるような厠で、後日この話はもりあがる。

帰路瀋陽で一泊した。中国の5大都市の一つである瀋陽は、最近では日本領事館事件や日本人誘拐事件でおなじみになったが、高層ビル群は日本の新宿新都心の比ではない。外資系のオフィスビルと共に集合住宅が多い。広い土地では更に道路拡張工事、高層ビル工事に複雑な高速道路工事、工事現場へ人を運ぶトラックの列、車の多さにも目を見張るものがあつた。

日本と瀋陽の往来も盛んのようなのである。関空からは週3便とは言え、往復ともに飛行機は満席。帰りの機内で隣り合わせになった30歳代の中国美人は、日本が大好きで京都に住み、関西で活動しているボランティアグループにじの会の理事をしていて、領事と留学生を案内している所だと言う。最近日本国内で中国人グループの犯罪が多く、受入は厳しくなったが、希望を持って生きる若者を支援して行きたい、民間の交流が大切と話されていた。一方、通化市滞在中お世話になった旅行者の方は、大学で日本語の教師をしていたが、日本語の人気のなくなり講座が廃止され失業。でも来年には、大阪府立大学へ留学が決まったという。

《歓迎ぶりと女教師》



東昌区の少年宮での日中児童友好美術作品展の開幕式典に参加した。

まず、正面玄関に「熱烈歓迎日本国重信町友好来訪団」の真紅地に黄色の字の横断幕が目飛び込んできた。人民政府の要人・教育局の関係者と共に、白い制服制帽で道路を埋めた鼓笛隊、チャイナドレス、胸当ての付いた赤いチェックのプリーツスカートの子ども達50人ほどが掛け声と花束で歓迎のシャワーを浴びせながら、生花のコサージュで飾った「貴賓」（赤い布に金色の字）の胸飾りを子どもの代表が付けてくれる。室内のテーブルはお花や果物が飾られ、朱のチャイナドレスを着た先生方が、また、玄関で出迎えてくれた子ども達も花を持ち整然と並び更に華やかさを演出している。殆どの女児は、髪を少し長めにし前髪を上げ後ろ上で結び、きりっとした可愛らしさが印象的だった。衣装に合わせお化粧をしている子も多数いた。

交通警察の車、人民政府の要人の乗った車に先導されて通化市の2つの小学校を訪問した。

倭江小学校は、交通警察を養成する学校で、ここでも4階建ての校舎に「熱烈歓迎日本友人来我校光臨指導」の垂れ幕が高々と上がっている。正面玄関で出迎えている8人の女教師も同じ文言の赤いたすきをかけ、子ども達は—



列に並び色とりどりの衣装で（後に、グループの分かれ演技をする衣装）両手に高くかざした花を振りながら「ファイエン」の大合唱の歓迎を受ける。

もう一つの学校、勝利小学校は、日本が統治していた満州時代の国民学校を受け継ぎ、現在児童数 1,400 余人のマンモス校。

どちらの学校も、一般学習と共に個性・才能を伸ばす専門分野にも力を入れ、対外コンクールにもどんどん参加し、入賞することを誇りとしている。両校の教室での授業・校庭の演技も見せてもらった。夫々 10 余りのクラブ活動〔楽器演奏・お琴・電子ピアノ・打楽器・歌・ダンス・書道・絵画・そろばん・立体工作・貼り絵・卓球・太極拳など〕を見学したが、どの子も礼儀正しく、生き生きしており、子どもっぽくて、素直に一生懸命に取り組んでいる姿に感動の連続だった。

そして先生方の細やかな指導にも感心した。そして女性が輝いていた。人口約 46 万人の小学校 17 校、中学校 21 校を束ねる教育局長は女性。今回訪問した 2 校でも校長先生、教師は女性が占めていて（卓球と絵画は男の先生）皆若くて澁刺としている。試験で成績の順に選抜され要職につくそうだ。黒っぽい細身のパンタロンスーツ姿にハイヒール、颯爽と行動するカッコいい先生ばかりだった。因みに、日本全国で女性の教育長はたった 2 名とか。

通化市での感動した 2 日間の日程を終え、早朝 6 時半出発した。早朝にも拘わらず 2 日間お世話になった方々がホテルまで見送りにきてくれた。昨夜のお別れパーティで何度も挨拶したのに、本当に怖れ入った。思いがけないことで、慌てたのは旅行業者の添乗員、大切な自分のバックをホテルの食堂へ忘れるハプニングも・・・。

《おわりに》

中国と一言で片付けるには、あまりにも広くあまりにも格差がある。すごいスピードで経済発展し、文化的にも向上し、色々な面で開放されてきていることを実感した。12 年前、上海、蘇州、無錫を訪れた時、上海の租界地域の整然とした賑わいのすぐ裏の大通り沿では、道端で七輪で炊事をし、繕い物をし、すずかけの並木にロープを張り、一面に洗濯物や綿の飛び出た布団を干していた雑多な光景が浮かぶ。バスは超満員、駅に人が、自転車道に溢れ、旅行者には子どもが物乞いをする。中国一の経済都市と言われていた上海の 10 数年前の姿だった。人口 13 億人、いま、世界の工場とも言われ、2008 年北京オリンピックを目指し急速に発展するであろう中国に脅威さえ感じる。努力すること、競争することをモットーとしている国と、そうでない国とどちらが将来性があるかは明白である。 (S・k)

建築当初に復元された『庚申庵』

最近、新聞にてよく目にする「庚申庵」へ12月1日（月）小春日和に誘われ会員3名で出かけました。伊予鉄道の線路が真横を走り、古町駅の近くに今年5月に完成した真新しい門構えの「庚申庵」がありました。中に入ると事務所のそばに大型テレビがあり、概要ビデオが用意されています。その奥にひっそりと建築当初（約200年前）に復元された庵があります。

資料によると、松山が生み出した俳人栗田樗堂が「多くの俳人が訪れる交流の場」として建てた庵は、松尾芭蕉の「幻住庵」を意識して建てられ、今は失われた「幻住庵」が遠く松山で「幻」のように出現したとあります。

天井は低く歩くとギシギシと床が鳴り、冬の隙間風を感じさせる。庭には立派な藤棚があり多種の樹木が植えられ、四季折々楽しめる志向が凝らされている。庭に面した縁側に座り茶などすすりながら歌を詠んだのでしょうか。

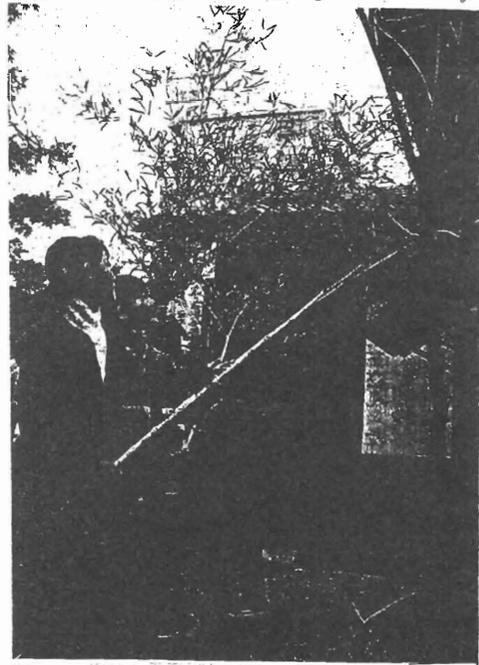
復元前のこの場所を知っているHさんによると、藤棚はもっと立派で大ぶりのツツジが庭を覆い、風情豊かだったそうです。事務所にある写真集にはその景観が残っていました。復元工事によって壊さざるを得なかったのかも知れませんがここが10年20年経た時その景観が戻っているといいのですが。

ただ、庭越しに建築されてしまったマンションはどうすることもできないでしょう。せめて、縁側から望む景観から見えなくなるくらいまで、樹木が大きくなって欲しいと思いました。町中の便利な場所ですから仕方ないのかとは思いますが、200年前にはこうなるとは樗堂さんも考えていなかったでしょう。庵のどこかで昔を懐かしんでいる樗堂さんが苦笑しているかも知れませんね。（A・M）

＊定休日：水曜日 ＊駐車場なし

5月開園の庚申庵 ほこりバイバイ！ 児童40人すす払い

2003年
12月14日
松山



江戸時代の俳人・栗田樗堂（ちよどう）が建てた庚申庵（松山市味酒町二丁目）で十三日、庚申庵こども教室で学ぶ児童ら約四十人が年末大掃除をし、五月の開園からたまったほこりをすす払いした。

長さ約二メートルのササぼうきを手にした子どもたちは、かわらや軒下にたまったほこりを丁寧に払っていた。

初めてすす払いを体験した児童も多くて、特定非営利活動法人（NPO法人）GCM庚申庵倶楽部の会員や地元住民に手順を教わりながら取り組んでいた。畳や壁の汚れも丹念にふき取り、新年への準備を整えた。

同教室の味酒小学校五年川谷真以さん（10）は「初めてすす払いをして楽しかった。建物を傷めないいい方法だと思っ。きれいにして、これから庚申庵についてももっと勉強していきたい」と話していた。



庚申庵を訪ねて

12月1日、庚申庵を訪ねた。11月にできなかった例会を兼ねて、またかねてより会員の一人から要望が出ていたこともあって、思い切って、行ってみることにしたのである。

庚申庵は、ビルの谷間にあって、すぐ脇を伊予鉄高浜線が通っている、いわば町の喧噪の中にある不思議な空間といった趣の草庵である。権力の世界を好まなかった江戸時代の俳人で、松尾芭蕉をこよなく愛し、小林一茶とも親交があったという栗田樗堂が1800年に建てたもので、後の所有者が手放さざるを得なくなったとき、松山市が募集した「学生による政策論文」に応募した松山東雲女子大学の学生達の声がきっかけとなって、市が動き出し、完全保有することによって、取り壊しの危機から一転して復元・活用されることになったのである。

復元に際しては、原形に忠実にということで2年間の年月をかけて丁寧になされたのである。その結果、後につけられた床の間や、台所、トイレなどは除かれた。庭も樗堂の構想による「細き流れを引き入れた」池を復活したのである。実は、私は元の所有者の親戚である友だちに、毎年フジの美しい季節にお茶会に呼ばれていて、復元前の庚申庵はなじみの場所であった。だから、フジの素晴らしさ、庵から見た庭の素晴らしさはよく知っていた。フジが終わる頃、次はつつじが咲き、前に大きな建物などがあるにもかかわらず、こんもりとした茂った木々やつつじに隠されて、町中であるにもかかわらずここだけは、癒しの空間が広がっていたのである。

今回、見事に復元された庚申庵を訪れて、こんもりと薄暗かった庭は一変し眼前に巨大な建物がそびえ、大きなつつじは全て取り除かれ、池を中心とした、庭が変わっていてびっくりした。あの見事なつつじや大きく茂った木々はどこへ行ったのだろう。そのことばかり気になって仕方がなかった。

忠実に復元された庚申庵とその庭も、きっと何年も経てば、もっと趣を増すに違いない。少しがっかりした思いの自らを慰めつつ、200年という時の流れの重さを別の意味で味わうこととなった。古き昔「多くの俳人が訪れる交流の場」として建てられた庚申庵を、今を生きる人たちが訪れ、それぞれの今を語ることによって、新たな文化財としての価値も生まれるのではないかという思いを胸に、フジの季節に再び訪れてみたい、そう思って庚申庵を後にした。

(T・H)

重信浄化センター場内整備意見交換会に参加して

11月10日(月)午後7時から役場4階大会議室において、近い将来完成予定の重信浄化センターの場内整備についての意見交換会が開催された。

11月の広報にお知らせが載っているということだったが、実は、役場の大森さんからお電話をいただいたときは、まだ広報は我が家には届いていなかった。参加のお誘いに、「行けたら、行きます。」とお答えして、会員に電話連絡した。夜でもあり、また急のことであり参加できる会員はいなかった。これでは誰も情報を流すことができないと、私は万難を排して当日夜役場へ赴いた。参加者は始めはほんの数人、途中からちらほら増えて、最終的にやっと十数名といった参加状況だった。

役場のコンピューターを使った説明は素晴らしかった。説明用にきちっと整備された申し分のないものだった。それにもかかわらず、集まったのはたったこれだけ?何だかとても残念な気がした。どのような周知方法をとったのだろうか。我が家の例も見ても、広報が届いたのは、まさに開催当日だった。役場のお誘いがなかったら、知らずに終わっていたところだ。役場の人も拍子抜けしたのではないだろうか。

それはさておき、浄化センターについて伺ったことをまとめてみたい。下水道事業の概要、センターの概要を聞いた後、浄化センターのコンセプトの説明があった。

ハード面では ①みんなに親しまれる(曲線を主体とした建設計画) ②環境教育の場としてのセンター(下水道汚泥のリサイクル 汚泥タイルなど) ③地球にやさしい(太陽光発電・ソーラー電灯・太陽温水器・省エネ設備の導入など)

ソフト面では ①新世代下水道支援制度(再生資源活用型リサイクル推進事業の承認) ②下水道モニターの設置 ③研修・学習会への対応 ④場内整備の意見交換会 ⑤総合的な学習時間の有効活用 ⑥情報の公開

外周を広く取り、場内植栽は雑木林をイメージして、ケヤキ・クヌギ・クス・アラカシなど考えているとのこと、水路を主体としたビオトープ(生き物のすむ空間)を作り、処理水の一部を段差をつけた水路に流し、浄化機能を持つ水生植物を植え、周りに散策路を設けるとのこと。まだ場内整備については計画段階なので、住民の積極的な提案を期待しているとのことだった。

提案は直接下水道課へ申し出てくださいとのことなので、良案のある人は申しとはいかががでしょうか。(T・H)

「重信川の自然をはぐくむ会」 活動報告 KK

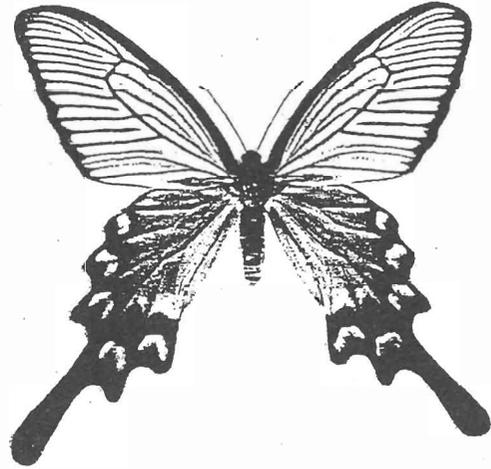
7月8日「第3回重信川の自然をはぐくむ会」に参加
午前中は重信川河口から中までバスで移動しながら、視察見学。
午後には「重信川にジャコウアゲハの保護地を」のプリントを参加者に配布 ※
午後は全体会議。
7月29日「市民フォーラム重信川の自然環境と自然再生」に参加

※「重信川にジャコウアゲハの保護地を」

重信くらしの学習会

重信くらしの学習会では楠博幸先生のご指導を受けながら湧水の保護や自然観察会等の活動を続けてきました。松山地区では現在ジャコウアゲハの自生地が減っており、主に霞の森周辺だけであるとききました。

自然観察テキスト「蝶のくる庭」を製作するときに、霞の森周辺を調べ、食草が豊富でジャコウアゲハの産卵から成虫までの過程が観察できることを確認しました。このとき私達は、この自然は子どもや孫へと引き継がれるべきであると強く感じました。しかし、河川敷であることから、個人や民間の団体ではどうにもなりません。もどかしい思いでいたところ、今回の国土交通省の「重信川の自然をはぐくむ会」の活動を知りジャコウアゲハの保護地がつかれるという強い期待を持ち、この会に参加しました。



1 なぜジャコウアゲハなのか

(1) 先住種であること、しかし、現在生息地は激減している

以前から道後平野には多く生息しており、1950年代には生息地は14カ所確認されていたが、1988年には4カ所しか確認されていない。(資料参照)

(2) 食草が限定されており、農業（農家）への影響がない

食草がウマノスズクサ、オオバウマノスズクサのみであり、幼虫は野菜の害虫ではなく、農家に迷惑をかけることはない。

(3) 年間に何回も世代交代をする

1年間に何回も世代交代をするので産卵、幼虫、サナギ、成虫の観察が容易である。さらに、ハンドペアリングなど中高生の理科研究の対象にもされる。

(4) 飛び方が緩やか

他のチョウと違い人をおそれずゆっくり飛んでくれるので一般の人の目を楽しませてくれる。

(5) 自然への興味・関心をもつきっかけになる

この蝶で十分な観察ができると、他の蝶や蝶以外の昆虫にも興味がわき、多角的な自然環境に対し関心が深まり見る目が広がってくると思われる。

2 重信川田窪付近の自然

以前は拜志大橋から上重信橋付近一帯の広々とした河原や堤防、竜沢泉、三カ村泉、柳原泉などの周辺にはアベマキ、アキニレ、エノキ、ムクノキ等を優先種とするすばらしい樹林が形成されていた。昭和20年の洪水に対しても大きな役割を果たしたし、松山平野随一の生物の宝庫としても知られていた。そのため、子ども達の勉強の場としても最適で、松山では初めて自然科学教室が開催された。この自然科学教室は現在まで続いている。

当時見られた蝶として、ミドリヒョウモン、クモガタヒョウモン、オオウラギンヒョウモン、ゴマダラチョウ、コムラサキ、スミナガシ、シータテハ、キタテハ、ジャノメチョウ等49種類が記録されている。(他の昆虫については別資料)

1990年代の調査では、ミズイロオナガシジミ、シータテハ、オオウラギンヒョウモン、シルビアシジミ、スミナガシは確認できなかった。

3 ジャコウアゲハに関する資料 (一部)

松山平野におけるウマノスズクサの地域別生育量の変化

生育地 調査年次	港山町	姫原	天徳寺墓地	弘願寺墓地	東栄寺墓地	堀之内	道後	石手寺山裏	新石手	大橋町	中野町	久谷川堤	重信町上村	重信町牛淵	砥部町八倉
1950年代	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	○
1960年代	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	○
1970年代	○	○	●	●	●	●	●	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	○
1988年9月20日現在	●	○	●	⊗	●	⊗	⊗	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	●

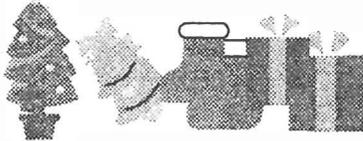
松山平野におけるジャコウアゲハの地域別生育量の変化

生育地 調査年次	港山町	姫原	天徳寺墓地	弘願寺墓地	東栄寺墓地	堀之内	道後	石手寺山裏	新石手	大橋町	中野町	久谷川堤	重信町上村	重信町牛淵	砥部町八倉
1950年代	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	○
1960年代	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	○
1970年代	○	●	⊗	⊗	⊗	●	●	⊗	○	○	◎	◎	◎	◎	○
1988年9月20日現在	●	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	●

◎ 多産する ○ 普通にみえる ● 少ない ⊗ 絶滅した

参考資料

- 「ダム湖の生態環境づくり」 財団法人 ダム水源地環境整備センター 平成6年3月
- 「蝶と花」第18号 ～松山平野におけるウマノスズクサとジャコウアゲハについて～
楠 博幸 著 郷土に自然をつくる会発行 1988年9月
- 「蝶と花」第43号 ～重信川田窪付近の自然～
楠 博幸 著 郷土に自然をつくる会発行 1995年12月



平成11年にホームヘルパー2級を受講しましたが 資格を使わないまま3年を迎えたころ 知人から声がかかり働くことにしました。

ボランティアでは ミニデイサービスなどに参加していましたが プロとして 時給¥1,000円以上受け取るというプレッシャーを感じながら 全く自信がないままスタートをきりました。

初日 90歳代の利用者の生活援助に2時間入り掃除、洗濯、夕食の準備をしました。緊張しながらの援助でしたが何とかこなし やっと 第1日目が終了。毎日援助に入っている利用者なので連絡メモをみながらの援助で この日の連絡はおかゆを作って下さいということでした。お腹の調子をお尋ねすると やはり良くないらしく メモの重要性が良く判りました。回数を重ねてくると 利用者は一人で日中いるので掃除や洗濯の援助をうけるよりも話がしたいような様子がみえてきました。心を開きかけてくれるように私の気持ちも優しくなります。でも 私は仕事もこなしながら話も聞きながらの生活援助なのでうまく利用者の立場にたてたかどうか考えながら帰路につくこともありました。

しばらくして 先輩ヘルパーさんからのアドバイスは 守秘義務。サービスを提供した利用者については一切のことを漏らさないようにして下さいという事でした。そんなこと簡単だと思ったのですが それは利用者のことばかりではなく事業所についてもそうでしたが 驚く事がありました。

利用者は介護認定を受けていますが 果たして実際の認定が正しいかどうか(それだけ必要かどうか) 認定があるから限度までは利用できるという考え方に片寄っていないかどうか 首を傾けたくなる認定もあり 中には利用者主体なのか 同居家族の意思尊重なのかというような疑問を感じる家庭もあり ホームヘルパー として働くことは社会的に価値があるというような自信というか プライドというか そういうものが全く感じられない現場があり この介護事業は 今のままでは失敗になるだろうなという予想を持つようになりました。

税金で支払われる介護費用が適性かどうか判断する事は難しい事案ですが 介護事業が失敗に終わらないためには 役場や市役所の厳しいチェック体制が 今後 必要になるでしょう。利用者について 各自治体独自のチェック体制を整えた自治体は健全な介護保険の運営が存続できるでしょうが 民間施設や医療機関の申請受理体制のままでは破綻だと思います。もっとも 介護保険料の金額を上げれば問題はないのですが 普通に考えて今の保険料でも四苦八苦というのが正直な気持ちです。国や各自治体は税収入

が減り 今までの借り入れ金の返済は有りという緊縮財政をしなければならない時に 必要のないサービスを受けさせられるお年よりがいるとは誰も予想をしていないでしょう。逆に 必要に迫られているにもかかわらず 1割負担が僅かな年金では大きすぎてサービスが受けにくい利用者もいると聞きます。利用者へのサービスは 過剰でも 過少でもよくありません。ある年金受給者は目一杯サービスを受けてもお金が残る 僅かな年金受給者はサービスが必要にもかかわらず制限しなければならない介護事業とは果たして福祉と言えるのでしょうか。また 福祉にお金を使う事の必要性は充分認識していたつもりでしたが 実際の現場は 介護保険から出ているお金は空から降ってくるようにおもっているんじゃないかと疑問を抱きたくなるような利用者や家族があり 血税を使っているという認識が全くかんじられなくてサービスに出かけるのがいやでならない日がありました。

しかし 先輩ホームヘルパーの皆さんたちのていねいな援助は素晴らしいものが有りました。医療従事者であったり 主婦であったりと立場はいろいろでしたが 忠実に仕事に取り組む人が多くいました。年齢もいろいろでしたが 子育てを終えかけて何か社会に貢献したいという気持ちの人たちでした。ホームヘルパーは時給が高そうですが 実際は 私の例ですと 時給¥1, 200 円を戴いたのですが 車で片道30分のところで 10分早めに入り援助終了後世間話を少しと言うことになると2時間の援助のためには3時間30分の時間が必要になりました。時給は高いのですがパート収入としては不安定だということも判りました。毎日 安定した仕事場があるという仕事ではありませんから利用者に対するいたわりの気持ちがなければできない仕事です。ホームヘルパー資格は国家資格として認められてはいますが 生活できる収入を確保するには程遠いと思われます。

現在 福祉に税金を使う行政を育てていくためにいろいろな努力がされています。又一方では 簡単に解決できそうにない問題も発生しています。利用者に優しく納税者に説明ができる介護保険となるには まだまだ時間がかかりそうですが 人の最期に係わる行政ですので期待をしています。

私のことですが 日々悩みながらも何とか仕事をしています。



(M. T)





12月雑感

今年も年賀状を書いている。以前ラジオで「年賀状を書くのが毎年の楽しみ」という初老の方の声が紹介されていた。1日10枚と決め、一人一人を思い出しながら楽しんでいらっしゃる様子である。

私も、今年はその楽しみを味わえる心境に少し近づいている。これまでは年賀状を書く時期になっても思うように時間がとれなかったり、時間はあってもボンヤリとやり過ごしてあわてて書いたりしていた。

毎年、名前を書く時はご無沙汰している友人・知人の顔を思い浮かべたりはするがほんの一瞬であったし、その人達に各々一言づつ書こうと思いながら書かず仕舞になることが多かった。今年のご無沙汰していた友人達と会う機会に恵まれた。それで、友人達の名を書く時に昔の思い出と共に今年会った時のことを思い出し、しばらく一人一人に思いを馳せている。なんとも時間のかかる書き方ではあるが、年に数日の事だからいいじゃない、と自分に言い聞かせ乍ら書いている。

そうやって書いているうちに、今年もいろんな事があったと、この一年を振り返る時に移行していく日もあったりする。

町の合併問題や政治のこと、電器製品の進歩など、私は新聞やテレビを見てつい一人で不平を言う事の多い年だった。

合併の件では、川内町が場外馬券場誘致で町民や町議会の混乱を招いたり、個人の問題とはいえ、川内町内から不正処理された産業廃棄物が出たりすると他にもまだ問題があるんじゃないだろうか、と重信町の将来を心配する。

政治ではイラクへの自衛隊派遣が閣議決定したけれど、決定が早急だったと思うし、平和憲法を持ち、国民の大多数がその憲法に誇りを持っている国としての国際協力が他にあるはずだと思っているので、政府の方針に不満を持っている。

生活に密着している電器製品のテレビでは、地上デジタル方式が東京・大阪・名古屋で始まった。それは、来年以降各都市に広がっていく。興味深い事ではあるけれど、今以上にテレビに釘づけ状態になりそうで心配である。

来年はどんな年になるのだろう。世の中に社会的変化はあっても世界平和を切に願うばかりだ。

さあ、又、年賀状に気持ちを戻そう。今年も私はたくさんの人達にお世話になり喜びを頂いた。感謝の気持ちを賀状の字に込めて一枚一枚仕上げていきたい。

町村議会

子ども館用地費

4007万円など可決

重信町 (18日・定例会)

計補正一億七十三万円(累計六十九億七千七百八十八万円)、老人保健特別会計補正一億八千五百万円(同二十四億二千七百八十二万円)など七議案を原案可決。二〇〇二年度決算を認定。「自衛隊のイラク派兵に反対する意見書採択を求める請願」など二件を不採択としたほか、請願一件を趣旨採択、二件を継続審議とした。

石丸敏雄(無所属) 諸伏静江(同) 浜田卯三郎(共産) 佐藤寿兼(同) 佐伯強(同)の五氏が一般質問。

合併時選挙の議員定数割り振りで川内町と協議が難航している点について和治治樹町長は「両町議会の承認が得られるなら、調整役をとる」とは、やぶさかでない。両町議員も納得できるように全力で役目を果たす」と、五日の合併協で表明した意見を再度述べた。

合併に伴う給食センター新設と、その民間委託、地産地消について両省吾教育長は「(新設給食センターの内容は)まだ白紙。民間委託は、財務省が文科省に学校給食のコスト高の改善を求めている、民間だから問題があるとは限らないとされている。建設が具体化する中で議論される。地産地消は本格的な取り組みが必要」と答弁した。

一般補正予算

1376万円を可決

川内町 (18日・定例会)

計補正予算千三百七十六万円(累計五十億二千九百七十五万円)、町ふるさと交流館特別会計補正千二百九十三万円(同二億五千八百七十七万円)など六議案を原案可決。二〇〇二年度決算全七会計を認定。「自衛隊のイラク派兵に反対する意見書採択を求める請願」など請願五件を不採択、一件を継続審議とした。

東一夫(無所属) 白戸寧(同) 渡部伸二(同) 江戸克仁(同) 森真一(共産)の五氏が一般質問。合併問題で成川耕造町長は「バラ色の町づくりを約束するものではないが、合併しなかったら将来、町財政は破たんしかねない。大きな視点でとらえてほしい」と答弁。

談合防止策について町長は「談合のうわさは聞かないでもないが、指名競争入札に町外業者も入れて競争させている」と述べた。これに対し「町外業者も談合に引き込まれていると聞く。国交省が実施している入札内訳書の抜き打ち提出をやるべきだ」と再質問。町長は「五百万円以上は七月から実施している」と答えた。

民間の産廃処分場と町が結んでいる公害防止協定の順守などについて、町長は「処分場は県が許可をするが、町にも意見照会があるため、環境審議会に対処していきたい」と述べた。



雑 感

師走らしく冷え込む朝が多くなり、冬鳥達も忙しそうに飛び交っています。近くの空地では3本のカリンの大木に無数の黄金の実が青空に美しく映えています。日本の行方を変えてしまう様な大きく重い宿題を抱えたまま今年も終わろうとしています。

イラクへの自衛隊派遣がにわかに現実のものとなろうとしています。憲法9条の前文にのっとった人道的な復興支援であることが強調されています。また、自衛隊派遣は①日米の友好関係の維持 ②国際貢献 ③産油国であるイラクの安定 という3点で日本の国益にかなうものであるとされていますが、自衛隊派遣は真にイラクの人々の平和と幸福につながるものになるのでしょうか。終戦が宣言された後もますます治安は悪化し、強い反米英感情を持つ人達が無差別に過激な行動をとっていると言われていています。その様な所に外見上軍隊と変わらない自衛隊が行くことは、新たな火種を作ることにはならないのでしょうか。国連も赤十字も撤退したイラクで自衛隊が誰も傷つかず、誰も傷つけず任務を遂行できるのでしょうか。その様な地へ、自衛隊員はどのような覚悟で出かけて行くのでしょうか。家族はどのような想いで送り出すのでしょうか。

先日もイラクのティクリートの近くで日本の外交官2人が殺害されるという大変痛ましい出来事が起きたばかりです。自衛隊派遣の基本方針が表明された直後、知日派と言われるアーミテージ氏は「日本は今まで金だけ払う観客だったが今回は共に闘う道を選んだ。歓迎する」と述べ、タカ派とされるウォルフオヴィッツ氏の提唱によるものとされるイラク復興支援事業への参加国が大統領から発表されました。最後までイラク攻撃に反対した国は除外されています。国連のアナン氏は、撤回を求めています。新しい対立関係を創り出してしまう様で心配です。復興支援は国連主導で行なって欲しいと思います。日本は国連が真に正しく機能するための働きかけこそを最優先に考えて行動をおこして欲しいと思います。今一度、与謝野晶子の“君死にたもうことなかれ”をじっくりと味わってみたいと思っています。世界中の全ての人が持って生まれた命を自由と平和の内に全うできる様祈るばかりです。

そろそろ年金が気になるお年頃の私ですが、将来保険料は18%程度に引き上げ、支給額は50%程度に引き上げる方針が出され、それでも不十分なので増税も検討されている様です。少子高齢化のため、今のままでは年金制

度そのものが破綻してしまうというのが理由です。現状だけを見ればそうなのでしょうけれど、その前に、潤沢にあった筈の年金積立金を野放図に浪費してしまった運用責任の所在を明確にして欲しいと思います。そうでなければいくら敬老の日に儀礼的にお祝いをしてもらっても、高齢者は日々肩身を狭くして生きていかななくてはなりません。少子化も将来に対する不安、現実への不信に起因しているとも思うのです。

そんな時ちょっと嬉しいこともありました。私の住む今治市鳥生地区の小学校では採れた食材を中心に自校式の給食が実施されているというのです。お昼どきに調理室からただよってくるいい匂い、給食を楽しみにしながら授業の終わりを待つ子ども達、考えただけで暖かい学校の様子が目に浮かびます。こんな取り組みの積み重ねがぬくもりのある教育現場を作り出す様に思えます。

今春猛威を振るったSARSが冬の到来と共に再流行することが懸念されています。そんな折、台所用合成洗剤がSARSに有効との報道がありました。環境への影響が心配です。

先日久し振りに重信に出かけた際、大街道から新居浜行きの特急バスを利用しました。車窓から見える11号線沿の重信町の変貌ぶりに目をみはりましたが、それにしても近い将来“温泉郡、重信町”という名称が消えてしまうことを改めて寂しく思いました。重信町を離れ今治市民となって2年足らず、生活の場である自治体は小さい方が良いというのが実感です。最近合併を取り止める町村もある様に聞きますが、重信町単独の道はもう残されていないのでしょうか。今の自治体はそのままに、四国4県の枠を取り去った方がより効果的だと思うのですが・・・。

我家のヤンチャ犬、大五郎は10ヶ月、35kgになりました。私が長電話をしたりしていると座布団をふりまわし、座椅子に嘔みつき悪戯の限りで邪魔しますが、今は私が原稿を書いている傍らでおとなしく寝ています。聞いて欲しいことは山ほどあるのに思いばかりで筆の進まない私への彼なりの思いやりなのでしょう。彼にとってみれば身勝手極まりない私達人間と、15歳になり2.5kgと小さいけれどマイペースなおばあさん猫、りりとの共存の方法を模索中の様です。

来年が予想に反して少しでも明るい平和な一年になります様に。(k・o)

大気中の二酸化窒素 (NO₂) の測定結果報告

コープえひめでは、毎年、環境モニターの協力により「酸性雨」「大気」の測定を全県下で実施しています。2003年の測定データを入手しましたので「大気NO₂」測定結果をお知らせします。

二酸化窒素(NO₂)

- 測定日 2003年6月5日(木)午後6時～6日(金)午後6時
- 測定地域 愛媛県内51市町村(昨年比+6)
- 測定規模 有効データ159地点
- 測定方法 小型カプセルによる簡易測定法(天谷簡易測定法)
二酸化窒素を吸収させるろ紙を入れたカプセルを24時間空气中に吊るしておき、それにザルツマン試薬を注いで発色させ、発色の度合いをユニメーター(比色計：筑波総合化学研究所製)で測定しました。
- 測定日の気候 県下全域が高気圧におおわれて、晴れでした。降水は記録されていません。各地の
①平均、②最高と③最低の気温は下記の通りです。
新居浜市(①22.8℃②28.2℃③17.2℃) 今治市(①22.0℃②28.4℃③16.6℃)
松山市(①22.2℃②27.5℃③17.0℃) 宇和島市(①21.2℃②26.6℃③15.6℃)
- 平均値 0.033ppm
昨年は0.027ppm

【行政区別データ集計】 ppm

行政区	データ数	平均値
伊予三島市	1	0.048
新居浜市	5	0.035
西条市	5	0.041
小松町	1	0.043
丹原町	3	0.028
東予市	1	0.044
朝倉村	1	0.021
波方町	1	0.055
大西町	4	0.048
菊間町	2	0.033
吉海町	1	0.053
宮窪町	1	0.048
伯方町	4	0.035
上浦町	1	0.019
大三島町	4	0.044
今治市	9	0.062
北条市	4	0.052
松山市	30	0.035
重信町	4	0.042
中島町	2	0.080

行政区	データ数	平均値
久万町	4	0.017
面河村	1	0.018
美川村	2	0.022
小田町	3	0.015
松前町	3	0.046
砥部町	3	0.027
伊予市	4	0.037
長浜町	3	0.024
内子町	2	0.022
五十崎町	2	0.016
肱川町	3	0.022
大洲市	2	0.019
保内町	1	0.023
伊方町	1	0.024
瀬戸町	1	0.035
三崎町	1	0.018
八幡浜市	6	0.027
明浜町	3	0.019
宇和町	5	0.021
野村町	2	0.014

行政区	データ数	平均値
城川町	3	0.019
吉田町	1	0.024
三間町	1	0.012
広見町	3	0.019
松野町	1	0.014
日吉村	1	0.017
津島町	1	0.025
宇和島市	5	0.025
御荘町	3	0.017
城辺町	1	0.023
一本松町	3	0.020
合計	159	0.033

※行政区は東予・中予・南予の順です。

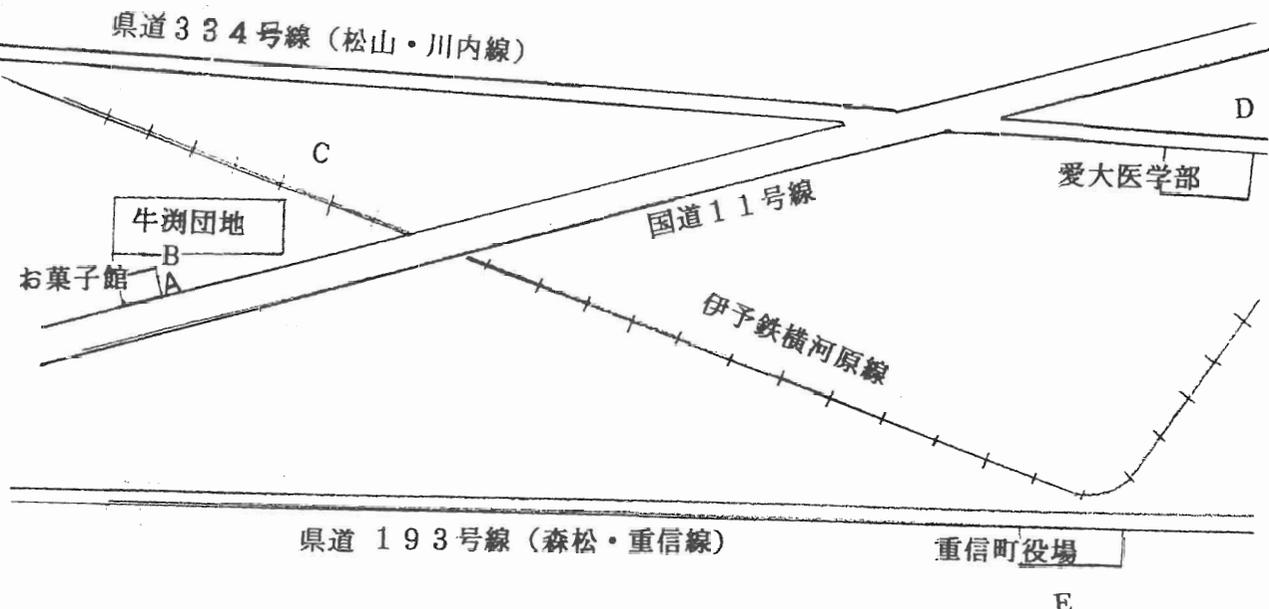
最大値は0.127ppm 今治市

最小値は0.009ppm 久万町

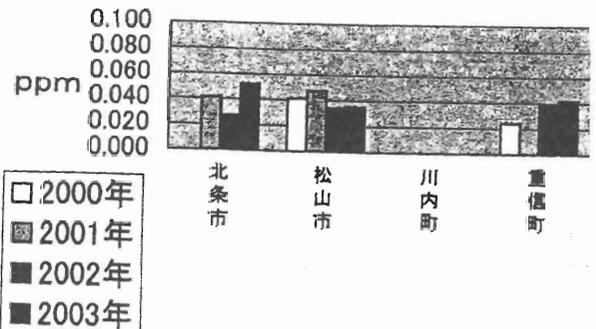
環境基準では「1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内またはそれ以下であること」とされています。

0.020ppm以下	あまり汚れていない
0.021ppm～0.040ppm	少し汚れている
0.041ppm～0.060ppm	汚れている
0.061ppm以上	大変汚れている

「行政区別データ集計」から重信町では、4ヶ所での平均値0.042ppmで環境基準から汚れているとなっています。重信町の位置関係ではどうなっているのか簡単地図に表示してみました。



- A. ハタダ前の陸橋柱2003年0.054ppm
- B. 牛湊団地40棟南側2002年0.057ppm
2003年0.036ppm
- C. 牛湊上樋 2002年0.030ppm
- D. 樋口北吉井幼付近2003年0.048ppm
- E. 役場後ろ 2002年0.033ppm
2003年0.031ppm



A・D地点は交通量の多い道路沿い、B・C・E地点は道路から少し奥にある住宅地ですが、全体に排気ガスの影響が見られているように思えます。
NO₂を減らすためには、①ふだん何気なく乗っている自家用車の利用の仕方を見直す。ディーゼル車の排出量が多いことも注目。②ゴミを燃やす時も発生するので、ゴミの減量・分別を進める。③緑はNO₂を吸収し空気をきれいにしてくれるので、緑化活動を進める。と、コープえひめからの提案。

今回、私自身も環境モニターとして参加してみて、定点(定まった位置)調査の必要性を感じました。来年も参加しようと思います。 A. M



数年前 新聞の小さな記事がきっかけで ☎ いのちの電話の事を知りました。わずかな寄付を重ねていく過程で もしかして 学習をすれば 私でも 相談員として活動に参加できるかもしれないと感じるようになりました。

数枚のレポートを提出後 面接があり いよいよ来月から養成講座受講の許可を受け取り 1年半の受講が始まるという時になって 家族に病人がでてしまい 未だに受講を受けられずにいます。個人的には あのときの受講許可が有効かどうか不明になってしまいました。が、くらしの学習会の会報を読んで下さっている方々に先日届いた冊子から抜粋したものをコピーしてお知らせします。

(M. T)

公開講座のお知らせ

主催 愛媛いのちの電話
後援 厚生労働省

日 時 2004年2月15日(日) 14時~16時
場 所 コムズ 5F大会議室 松山市三番町6-4-20
TEL089 (943) 5776
講 師 林幹男先生(福岡いのちの電話訓練委員長 福岡大学教授)
演 題 未定(自殺予防が主題になります)
お問合せ 愛媛いのちの電話事務局 TEL089 (958) 2000
☆ 入場無料です
☆ できるだけ公共交通機関をご利用ください。

「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン」に参加しています!

愛媛いのちの電話はジャスコの「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン」に参加しています。これはジャスコが地域の環境・社会貢献に取り組んでいるボランティア団体等を支援する企画です。毎月11日にお客さんの買い物レシートを任意の団体に投票していただき、その総額の1パーセントを商品で還元して下さるというものです。

愛媛いのちの電話では初年度の2002年、二万円相当の事務用品・文具を寄付していただき大いに助かりました。皆様も、この毎月11日に行われているジャスコの「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン」にどうぞ御協力ください。

傳 聞

愛媛いのちの電話 第24期 電話相談員養成講座 開講 受講生を募集します

受講期間 2004年5月～2005年9月（1年半）
場 所 松山市総合福祉センター（松山市若草町8-2）
日 時 毎週月曜日18:00～20:30（原則月3回）
受講料 45,000円
募集人員 40名

※詳しくは「募集要項」を事務局までご請求ください。

80円切手を貼付した返信用封筒にご自分の住所氏名をご記入のうえ、下記住所までご請求ください。

〒790-8691 松山中央郵便局私書箱158号
愛媛いのちの電話事務局行
電話 089 (958) 2000 F A X 089 (958) 2014

あなたの苦しさを
受けとめる
電話があります。



0120-738-556

12A1B(JA)0020312A7B(B)24:00まで(24時間通話可です)

自殺予防 いのちの電話

自殺予防 いのちの電話

「フリーダイヤル自殺予防いのちの電話」

主催：社会福祉法人 いのちの電話

後援：厚生労働省

<http://www.find-i.jp/> 日本のいのちの電話連盟

「いのちの電話」は1971年に日本で開設されて以来、年中無休で相談を受けています。

「フリーダイヤル自殺予防いのちの電話」は2003年で三年目を迎えました。これは「いのちの電話連盟」に加盟する48のセンターが厚生労働省の後援により、自殺予防を目的として全国一斉に同一番号で行う通話料無料の電話相談です。

期間は2003年12月1日(月)0時00分から

12月7日(日)24時00分までの一週間。

愛媛いのちの電話を ご支援ください

「いのちの電話」は、さまざまな問題を抱えて悩み苦しんでいる人と、電話を通して心を通わせ、勇気を出して生きていけるように支援する市民ボランティア活動です。いのちの電話活動は、また多くの方々の資金援助によって成り立っています。財政面で困難を抱える今、よき隣人として多くの方々の善意を心からお待ちしております。

1 後援会へのご入会

個人 A会員 3,000円
B会員 5,000円
C会員 10,000円

法人団体 A会員 10,000円
B会員 30,000円
C会員 50,000円

2 社会福祉法人推進特別基金

個人 A 5,000円
B 10,000円
C 30,000円

法人団体 A 30,000円
B 50,000円
C 100,000円

3 寄付金 助成金

4 賛助金 助成金

※ 以上 いずれも
何口でも結構です。

〈ご送金のご案内〉

☆郵便の振替

01680-7-12392

☆伊予銀行岡田支店

①1047635

☆愛媛銀行末広町支店

②0254839

※ 宛名はいずれも

「愛媛いのちの電話」です。

「人間の盾」から見たイラク戦争

フリージャーナリスト 志葉 玲氏

米英軍によるイラク空爆の下、バグダッドの浄水場へ滞在して人間の盾となりながら現地取材を続けたフリージャーナリストの志葉玲さん(心)が15日、愛媛大で講演(愛媛大・松山大イラク写真展実行委員会主催)した。ミサイルを撃ち込まれて泣き叫び、殺される側から見たイラク戦争の実相を報告し、「サダムがいなくなっただけで米英軍はもう帰ってくれ、というのがイラクの人たちの本音。日本が自衛隊を送り込めば占領支援とみなされ、イスラム圏全体を敵に回すぞ」と述べた。以下要旨。

15日・愛媛大 講演要旨

昨年十二月、今年三、四、五月とイラクに行き、五十七人が死亡したと聞いて、私が見た限り、死者や負傷者は日本に好感を持ってた。大量破壊兵器疑惑を言っている米軍が、劣化ウラン弾とともに国連人権小委に訴えて、サダムがどんなに悪くても、一般民衆は悪くない。自衛隊は水を配ると

自衛隊派遣は「占領支援」

イスラム圏全体が敵に

害が深刻で、湾岸戦争前より白血病やがん患者が五十倍に増えている。それで米国内に原爆を落とされた日本にシンパシーがある。だから「日本はなぜ米軍を支持したのか」とイラク人に聞かれたとき、私は答えられなかった。米軍は攻撃の理由にイラクの大破壊兵器開発を挙げたが、いまだ見つからない。次にサダムの独裁から人民を解放し人権を守るためと言ったが、実態は正反対だった。私の訪ねた村にはクラス



「日本人外交官の死は悲劇の始まりにすぎない」と警告する志葉玲氏

言うが、既にフランスNGOの支持を高めている民主党Oがやっていると、何よりイラクには企業があり、技術者がいる。復興支援とは現地とのパートナーシップに配慮したデリケートなものであると知るべきだ。武装した集団は米英軍の占領を支援しか見えない。米英軍を奇襲するイラクの人々を「テロリスト」と単純に言うが、アラブ系メディアは近ごろ「レジスタンス(抵抗運動)」と言っ

て、いまだサダムが死んでいない。自衛隊を現地に送れば、さらに犠牲者は増えるだろう。六月、取材中に米兵に身柄を拘束された。収容先で銃を持った若い米兵が両手を縛られたままの私に「なんておれたちはここに来ているんだろ。もう帰りたい」と話してきた。一方で米兵も犠牲者だ。かつて多くのベトナム戦争帰還兵が心身に異常を来したが、今回も泥沼化して同じ事態になるのではないか。それにも対米追従で、小泉政権は情けない。イラク戦争を疑問視して米国民

いぞの犠牲に、しかも帰っていない。自衛隊を現地に送れば、さらに犠牲者は増えるだろう。六月、取材中に米兵に身柄を拘束された。収容先で銃を持った若い米兵が両手を縛られたままの私に「なんておれたちはここに来ているんだろ。もう帰りたい」と話してきた。一方で米兵も犠牲者だ。かつて多くのベトナム戦争帰還兵が心身に異常を来したが、今回も泥沼化して同じ事態になるのではないか。それにも対米追従で、小泉政権は情けない。イラク戦争を疑問視して米国民

次回例会おしらせ
2004年1月26日(月)13:00~ 林宅
総会を行ないます。
年間の活動計画を考えておいてください。

くらしの学習では、随時会員を募集しています。
活動会員 2,000円/年 購読会員 1,000円/年
振込先口座番号(郵便局) くらしの学習会 01610-5-21026
問合せ先 TEL/FAX 089-964-6956
E-mail: kt-hayashi@nifty.com